

## INFORMATION

### 薩摩偉人 維新伝心隊による 「維新演劇シアター」

史実に創作を織り交ぜた現代風歴史物語を、役者扮する鹿児島ゆかりの偉人たちが、身近にわかりやすく語る「維新演劇シアター」。

この冬はザビエルさんが登場!!「虎視眈々と令和の鹿児島の観光PRキャラクターの座を狙っているかも?!の巻」



#### 上演スケジュール

【西郷さんザビエルさんの～ニュースリリース薩摩編～】  
〈日 程〉2023年1月1日(日・祝)・1月8日(日)  
〈上演時間〉上演日の12:30～13:00(30分間)  
〈会 場〉維新ふるさと館 地階「維新体感ホール」  
〈観 覧 料〉無料(入館料のみ)



### 温故地新

ふる故きを温ね、たずね、地元を新たに。

#### ■第2回歴史講座 テーマ「島津斉彬が夢見た日本の近代化」

11月25日(金)26日(土)の2日間、維新ふるさと館第2回歴史講座を開催しました。

今回は「島津斉彬が夢見た日本の近代化」と題して、佐々木幸男副館長兼歴史解説員の歴史講座講師デビューとなりました。

受講者から「斉彬が行った近代化がよくわかり、先見性のある偉大な人と分かった」「詳細に説明していただき、とてもわかりやすく楽しくてあつという間でした」などのお声をいただきました。

次回は2月に今回のテーマの続きを開催予定です。皆様のご応募をお待ちしております。

#### ■「薩摩の武家屋敷群『麓』を歩く」

史跡めぐりバスツアーを開催しました!

20名の参加者の皆さんと副館長兼歴史解説員の佐々木幸男先生と一緒に入来麓、出水麓を散策しました。

紅葉が色づき始め季節もちょうどよく、次第に晴れ間も見えて散策には最適な1日となりました。地域の皆さんのが大切に残していくらっしゃる当時の武士の暮らしを見ることができました。地域ガイドの皆さん、参加者の皆さんありがとうございました。



### かごしま折々あそび展 第2回企画展開催

鹿児島の歴史や文化などを紹介するおりがみ作品や、冬から春のむかしあそび、かごしま弁を使ったことばあそびの作品などを展示します。

期間中館内で、「ことばあそび」「むかしあそび」「おりがみあそび」の体験会も、下記の日程で開催します。

上:ことばあそび、下:むかしあそび「こままわし」▲

#### 開催スケジュール

〈期 間〉開催中～2月5日(日)まで  
〈体験時間〉下記日程の13:00～16:00  
〈場 所〉維新ふるさと館1階 あそんでみやんせコーナー

#### ことばあそび体験「鹿児島ことばあそびうたかるた」

1月7日(土)

#### むかしあそび体験「こままわし」

1月8日(日)・1月15日(日)

#### おりがみあそび体験

#### 「鬼と落花生・維新ふるさと館キャラクター」

1月22日(日)・1月29日(日)

#### むかしあそび体験「お手玉・紙風船」

2月5日(日)



上:むかしあそび「お手玉・紙風船」

下:おりがみあそび▶



節を曲げず、誇りを持ち、  
徳川を守った薩摩の姫

(鹿児島市城山町／県歴史・美術センター黎明館前庭)

### 維新を歩く

天璋院篤姫は、天保6年(1836)に今和泉家当主島津忠剛の娘として鹿児島城下に生まれました。名前は於一。島津本家(齊彬)の養女となり、名を篤姫と改め、近衛家の養女として徳川13代將軍家定の御台所となりました。

徳川將軍の正室である御台所は、宮家か五摂家から迎えることが通例でしたが、篤姫以前にも外様大名の姫が御台所となった例がありました。島津重豪の娘広大院茂姫です。婚約者一橋豊千代が11代將軍家斉となつたことから、御台所となりました。広大院は長命で、家斉の子どもたちを庇護したことから、大奥や幕閣にも評判が高かつたようです。

そんな中で、徳川家祥(のちの家定)の縁組の話が島津斉彬のもとに持ち込まれました。家定は2度公家の娘と結婚しましたが、2人とも早世したことから、本人や多くの縁者も長命であった広大院にあやかり、島津家から夫人をもらいたいと考えたのです。縁談を持ち掛けられた島津家には年頃の娘がいませんでした。所縁のある娘たちを探し、選ばれたのが利発な篤姫でした。

安政3年(1856)12月18日篤姫は家定の御台所となり

ました。病弱だった家定と篤姫の結婚生活は仲睦まじく、具合が悪く看護が必要な時も、家定は「篤姫のところへ」と言っていたといわれます。幸せだった家定との時は、家定の病死によりわずか1年半余で終わりを告げます。

その後、篤姫は天璋院と号し、大奥を束ね、徳川家定のために尽力します。戊辰戦争により、江戸城総攻撃間近となったとき、篤姫は、宛名に「隊長へ」と記した嘆願書を西郷隆盛に届けさせました。必死の思いは通じ、江戸城は無血開城となり、徳川家も存続となりました。維新後も篤姫は徳川家の幼い当主達の養育に精を出し、近衛家長女との結婚を見届け、明治16年に48歳の生涯を閉じました。

彼女の生涯については、宮尾登美子の「天璋院篤姫」を原作とするNHK大河ドラマが2008年に放送されました。ホームドラマ風の演出で人気を博し、全50回の平均視聴率は、昨年までの25年間の最高を記録しています。

「女の道は一本道」嫁ぎ先の徳川家を守ることに人生をささげ、故里鹿児島に帰ることのなかった天璋院篤姫。鹿児島城本丸跡(県歴史・美術センター黎明館前庭)の満開の桜の前に凜として佇む姿に、その気概を感じます。

(文・佐々木幸男 維新ふるさと館 副館長兼歴史解説員)

# 新春 クロス ワード

新年あけましておめでとうございます。

維新ふるさと館は、今年も鹿児島の歴史観光施設として、郷土の歴史を「楽しく、分かりやすく」紹介してまいります。

今年のNHKの大河ドラマは、「どうする家康」となりました。歴史ファンの期待も高まっているものと思いますが、今年のクロスワードは、いつもとは趣を変え、家康と同時代を生きた、皆さんご存知の島津4兄弟に関連した問題です。

大河ドラマと一緒に「新春クロスワード」をお楽しみください。正解者の中から抽選で、素敵な景品をプレゼントします。

## 【応募方法】

ハガキに、  
①答え ②郵便番号 ③住所 ④氏名  
⑤年齢 ⑥電話番号を記入し、  
「維新ふるさと館 クロスワード係」宛に送る

## 【応募締切】

令和5年1月16日(月)必着

## 【送り先・問い合わせ】

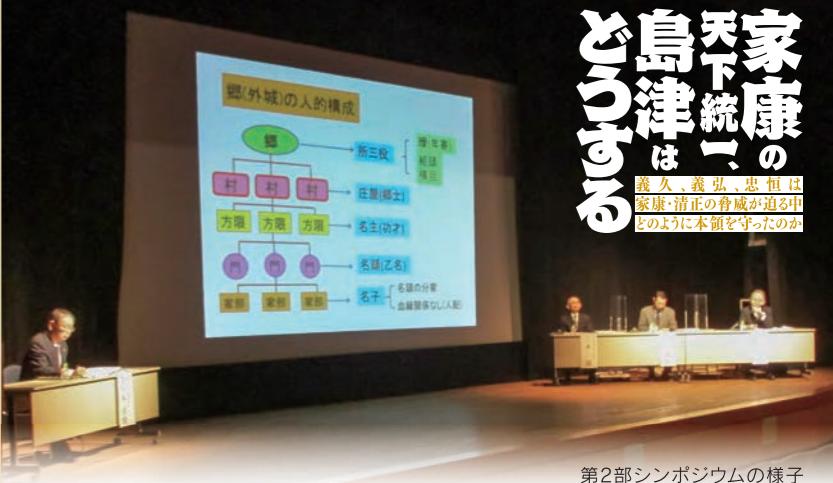
〒892-0846 鹿児島市加治屋町23-1  
鹿児島市維新ふるさと館「クロスワード」係  
TEL 099-239-7700

※当選の発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。

※応募いただいた方の個人情報は、景品の抽選・発送のみに使用いたします。

## 答え

A B C D E F G



第2部シンポジウムの様子

## 「歴史シンポジウム」開催

12月11日(日)サンエールかごしまにて、「維新ふるさと館歴史シンポジウム」を開催いたしました。今回、NHK大河ドラマが「どうする家康」に決まることから、「家康の天下統一、島津はどうする—義久、義弘、忠恒は家康・清正の脅威が迫る中、どのように本領を守ったのか」をテーマといたしました。

第1部の基調講演は、鹿児島国際大学名誉教授の三木靖氏に「関ヶ原合戦と鹿児島城一島津氏は…」と題してご講演いただき、次に鹿児島県史料編さん委員の尾口義男氏

に「関ヶ原の戦いと薩摩藩の外城制度」と題してご講演いただきました。

第2部のシンポジウムでは、基調講演をいただいた三木先生・尾口先生に、維新ふるさと館特別顧問の肥後秀昭氏を交え、「薩摩藩の門割制度」など3つのテーマを、佐々木幸男副館長兼歴史解説員がコーディネーターとなり、楽しいトークを繰り広げました。

参加者の皆様から「関ヶ原の戦い以降、島津氏の動きもよく理解できた」「上山城築城の経過などがよくわかった」「外城制度・門割制度についても勉強になった」など様々なお声をいただいているいます。

今後も「分かりやすく、楽しく」をお届けできますよう努めてまいりますので、次回もたくさんのご応募お待ちしております。



▲第1部 基調講演／尾口義男氏

